「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 「仙台市立七郷中学校]

氏名 [青沼 一岳]

「中 1 学校 「 28 1 年版 単元名 「 心に寄り添う 1 P 5 4 ~ 5 5

教科·領域名 [道徳] [時間 50分]

主な学習活動 (実際に行った活動) 指導の実際

【ねらい】神戸市をはじめとする全国各地から寄せら れた震災後の支援の姿を理解するとともに,心に寄り 添う復興や支援の在り方を考える。

内容項目:公徳心

【授業の流れ】

1(導入)震災後,私たちに 寄せられた支援を振り返る。



2 (展開)資料(副読本 P54,55)を読み,兵庫県警 から派遣された「のじぎく隊」の活動を知る。

派遣された主人公(西村さん)はなぜ派遣されたの でしょうか。

3 被災した男性の気持ちを考える。

あなたがこの男性だったとしたら,主人公(西 村さん)に対して、どのような気持ちをいだい たと思いますか。

あなたがこの男性だったとしたら、話を伝え た後,どのような気持ちになったと思いますか。

4 主人公の思いを考える。

あなたが主人公の西村さんだったとしたら, 男性の話を聴いて,どのように思いますか。

他都市の復興のために活動を続ける主人公(西村 さん)の姿をあなたはどう思いますか。

5 (終末)心の復興・支援について考える。

なぜ心の支援が大切なのでしょうか。

あなたが考える心の復興・支援とはどういうもの だろうか。

学校地域合同防災訓練の日に, 全校道徳(全クラス同時間・同内容)で実施。

【準備物】

・防災副読本,ワークシート

【生徒のワークシートから】

私たちに寄せられた支援を振り返る

・食品や生活用品などが多く寄せられた。

西村さんはなぜ派遣されたのか

・宮城県警や近くの県の県警だけでは「心の支 援」まで気を配れなかったから。

被災した男性の気持ちを考える

・話を聞いてもらい,少し前向きになれた。

主人公の思いを考える

- 男性の本当の気持ちに気付けなかったことへ の申し訳なさと,自分に話して感謝してくれ たことへの嬉しさ。
- ・男性のために何をしてあげられるか考える。

心の復興・支援について考える

- ・隠れている気持ち に気付き , それに 対してこたえてい くこと。
- ・傷ついてしまった 被災者の心に前向



きに生きようとする力や気力を取り戻すも

【生徒の感想】

- ・復興や支援の私のイメージは,形だけのもの でしたが,形を復元している裏で心のケアを している人を忘れずにいたいです。この授業 から, 普通にやるあたりまえのことが, どれ だけ重要なのかを知ることができました。
- ・今日は,復興のために私たちに何ができるの か考えました。「心から復興を祈る」「今ある ことを一生懸命にする」ことが復興への第一 歩だということを感じました。 今私たちにで きることをしていきたいです。

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」